

議 長	局 長	主幹・係長	係

粕屋町議会 視察研修報告書

下記（別紙）のとおり、視察研修に参加しましたので、その内容について報告いたします。

粕屋町議会議長 末 若 憲 治 様

令和8年2月24日

粕屋町議会
議会広報常任委員会

安藤 和寿

報告事項

委員会名	議会広報常任委員会
日 時	① 令和8年2月6日午後13:30～15:30 ②
視 察 先	① 福岡県田川郡添田町議会広報広聴常任委員会 ②
研修目的 (テーマ)	① 優秀賞を受賞した貴議会広報の取り組みと体制、 マニュアル化による質の安定化手法 ②
現状と課題	① (研修目的を設定した背景(粕屋町の現状と課題)について記載) 弊議会広報常任委員会では優秀賞を受賞するという実績も無く、議会 広報紙作成の全議員の積極的な(遠慮しがちな面)活動協力の意識は 低い状況と考える。

	<p>②</p>
<p>概 要</p>	<p>①（研修内容を簡略にまとめ、議員個人として粕屋町に必要又は参考になると思われる点について記載）</p> <p>添田町議会広報広聴常任での編集体制、マニュアル化から議員全員が任期中に一度広報広聴常任委員会を経験する体制作りは必要と考える。</p> <p>②</p>
<p>質 疑 応 答</p>	<p>①（研修での自身その他の質疑応答内容（要点）を記載）</p> <p>1， 広報紙制作マニュアルの有無と内容</p> <p>2， 編集作業の具体的な分担方法</p> <p>3， 受賞要因の分析</p> <p>②</p>

所 感	<p>①（研修で自身が感じたことや学んだことを、町にどのように活用できるかなどを記載）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、マニュアルの中にレイアウト例やテンプレートがあり、それに合わせて記事を練ることができる様になっている。当町委員会でも実務経験を積まなくても活用出来ればスムーズな広報紙の作成が出来るのでは無いか。 2、添田町では広報編集作業の外部協力が充実している様に感じると共に女性職員の充実した協力があって成り立っている様に感じた。 3、受賞要因の分析については議会が終わったことの報告だけに留めず政策制度や自治体のこれからの追求が評価を得たものとのこと、過去の広報委員が得た知見が作成マニュアルに込められており、それを基に作成している広報紙は、マニュアルの役割は大きいと感じた。 <p>②</p>